

# 「あなたの石はどうなっていますか？Ⅱ 元にもどるのか」

ヨハネ 21 : 1~7

## ■ 怒りと罪責感

カナダマギル大学、精神科教授タバナル博士が「なぜ人間に問題が発生するか」と、結局、怒りとそれが引き起こす罪責感があるからだ。「人が怒りを発する方向は、概して二つであり、”人に対して”か”自分に対して”かである」私たちが怒る時はだいたい恐れから始まってそして負い目かそれともなぜという不安からくる、それは自分に向く人もいるし人に向く人もいるこれが世界の問題のすべてなんだとタバナル博士言っている。

## ■ 元に戻った弟子たち

ヨハ 21:3 『シモン・ペテロが彼らに言った。「私は漁に行く。」彼らは言った。「私たちもいっしょに行きましょう。」彼らは出かけて、小舟に乗り込んだ。しかし、その夜は何もとれなかった。』  
21:4 『夜が明けそめたとき、イエスは岸べに立たれた。けれども弟子たちには、それがイエスであることがわからなかった。』  
21:5 『イエスは彼らに言われた。「子どもたちよ。食べる物がありませんね。」彼らは答えた。「はい。ありません。』  
ペテロたちは、人間をとる漁師にしてあげようって言われたのに昔の生活に戻っていた。私たちはもうもう戻らないと決めて決断するが、問題が起こると元に戻ってしまう弱さがある。  
しかし、弟子たちは素直になっていることがわかる。イエス様と過ごした3年間で善悪をよく理解できるようになっていた。だからプロの漁師である男達は、素直に答えることができたのです。

## ■ 「主です」でも裸…何を隠したのか？

ヨハ 21:6 『イエスは彼らに言われた。「舟の右側に網をおろさない。そうすれば、とれます。」そこで、彼らは網をおろした。すると、おびただしい魚のために、網を引き上げることができなかった。』  
21:7 『そこで、イエスの愛されたあの弟子がペテロに言った。「主です。」すると、シモン・ペテロは、主であると聞いて、裸だったので、上着をまとして、湖に飛び込んだ。』  
「主です」と聞いてペテロは裸だったので上着をまとった。ペテロは一体何を隠したのか？やましさを隠すためにペテロは上着をまとったのです。これは創世記のアダムとエバが神様に呼ばれた時、体を隠したのと同じなのです。  
私たちにこのやましさを恐れる最初は相手に向きます。しかし、最後はやましさを恐れは自分に向いてくるのです。  
だからペテロはこの後、イエス様にあなたは私を愛するか？と聞かれると私には愛せませんとそうやって答えます。ペテロや弟子達は元に戻っていたのです。

## ■ 右側

私たちは、やましさを持っています。そして神様の前に出られない…なぜかという元に戻っているからです。  
神様の方法とは違う、自分のやり方ではうまくいかないのです。  
しかし、イエス様は言われます「舟の右側に網をおろさない。そうすれば、とれます。」  
私はできない私には無理なんだと素直になった時、神様の方法を選ぶことができるのです。

## ■ 理解・共感・超越法

- ・バイオフィジカルモーション：生物学と物理学の原理を組み合わせる解釈される運動のことです。生物体や生物分子の運動は、物理的な法則に従っており、物理的な原理や生体力学的な観点から理解されます。
- ・ハイコンテクスト：コミュニケーションや社会的な相互作用において、非言語的な要素や文化的な共有知識を重視するスタイルや文化を指します。ハイコンテクストの文化では、暗黙の了解や非言語的なサイン、文脈や人間関係が重要であり、言葉だけではなく、情報や意味を共有します。
- ・トランセンド法（超越法）：ノルウェー出身ヨハン・ガルトゥング氏が、自らの体験をもとに編み出した理論で、紛争当事者全員の対立の妥協点

を調整するのではなく、表面的な事象から飛躍して、新しい創造的な解決法を探し出す。

## ■ 目的を超越する答えが必要である

- ・直接的暴力
- ・構造的暴力
- ・文化的暴力

ソロモンの前に 2 人の女性が来てお互いに、「生きているのは自分の子供で、死んだのはあなたの子どもだ」と言い張り、一步も引かないシーンがあります。そこでソロモンが言った方法が超越的解決である。  
列王記 第一 3:25 『王は言った。「生きている子を二つに切り分け、半分をこちらに、もう半分をそちらに与えよ。』  
こう言うと、本当の母親が偽物の母親に子どもを与えようとしてます。するとソロモンは、  
列王記 第一 3:27 『そこで王は宣告を下して言った。「生きている子を初めのほうの女に与えよ。決してその子を殺してはならない。彼女がその子の母親である。』  
A・B でもない超越的解決を行うのが神様の方法である。それが十字架という方法だったのです。神様が願う目的は、私たちが生き方を変えることなのです。

## ■ ヤハウェ！（エホバ）

エホバという言葉は右から見ます。  
手、見る、釘、見るという言葉で成り立っている。エホバというのは手にある釘の跡を見るそれが主なのだと言っているのです。  
出エジプト記 3:14 『神はモーセに仰せられた。「わたしは『わたしはある』という者である。」また仰せられた。「あなたはイスラエルの子らに、こう言わなければならない。『わたしはある』という方が私をあなたがたのところに遣わされた、と。』」

## ■ まとめ

私たちは繰り返して元自分に戻ってしまいます。  
私は、ここで戻る自分を断ち切りたいそう言いながらまた元に戻る何か起きると大事な決断をせずに元に戻る決断を選んでしまう。  
イエス様が取った超越した解決方法は一体何だったのか？  
それは、共感し、その人を理解し、そしてその人をわかったのです。  
A・B でもない解決を私達に与えてくださいました。どういう方法かという超越した十字架の犠牲という方法を取られたのです。  
イエス様が十字架の犠牲になり、私たちの人生の目的を変えてくださるのです。  
あなたが相手を理解しようとして、そして共感し A・B という答えしかないときに上を向いて「神様助けてください。本当に良い答えはなんでしょうか。」と神様の知恵を求めた時、神様があなたに知恵を与えてくださるのです。  
私たちは神様との架け橋になりたいそう願っています。イエス様のところに来て欲しい、彼の愛を知ってほしい、その愛を知ればその人が抱えているさまざまな問題の根底が解決される。その人は生き方を変えることができる。それは私たちがそうだったように。  
ぜひ、私たちはこの1週間神様を求めて祈りたいのです。  
「聖霊様は私の中に来てください。私はいなくていい、もうここで死んでます。だけでもあなたが私を用いてくれるなら私の中にあふれて私の内側から泉のように湧き上がって乾かない水を溢れるようにしてください。」

(要約者: 泉水 浩)

(2023年5月21日)